

令和6年速度取締り指針（高松南警察署）

速度取締り重点

次の路線、時間帯を重点に速度取締り活動を推進します。

重点路線	重点時間帯	区間	規制速度
国道 1 1 号	7:00~18:00	御厩町（署境）～六条町（署境）	60 扣
国道 3 2 号	7:00~18:00	峰山口交差点～岡本町（署境）	60 扣
★ 国道 1 9 3 号	7:00~18:00	上天神交差点～塩江町	60・50 扣
★ 県道中徳三谷高松線	7:00~8:00	佐古東交差点～三谷町（署境）	50 扣

★は可搬式オービス取締り重点路線

※重点路線以外の路線・時間帯であっても、速度違反取締りを実施することもあります。

高松南警察署管内



出典：国土地理院発行基盤地図

- 令和3年から令和5年までの3年間の交通事故(死亡事故)発生地点
- 令和3年から令和5年までの3年間の交通事故(重傷事故)発生地点

高松南警察署管内における交通実態等

(1) 交通事故発生状況と特徴

ア 過去3年の交通事故発生状況

	令和5年	令和4年	令和3年
人身事故	788	835	866
負傷者	978	1,007	1,057
うち重傷者	71	56	52
死者	6	7	3

※ 重傷者とは、治療(加療)が30日以上を要する者をいう。

イ 令和5年交通事故の特徴

- 全体評価
発生件数、負傷者数、死者数ともに前年よりも減少したが、以前として死者数は12署中で丸亀署と並んで最多
- 路線別状況
昼間帯は市道、県道、国道で、夜間は県道、市道、国道の順に発生件数が多い。
- 時間別状況
昼間 604件(−54件) 夜間 184件(+7件) 特に午前8時台、午後6時台が多い。
- 形状・地形
交差点及び交差点付近 462件(±0件)
※ 特に車両相互の出会い頭事故は県下12署で最多
- 年齢別
高齢者 278件(−31件)、若者 224件(−16件)、高校生 42件(−8件)
※ 依然として高齢者の占める割合は高く、構成率は35.3%
- その他
自転車 178件(−8件)
※ 自転車事故の発生件数も県下12署中で最多

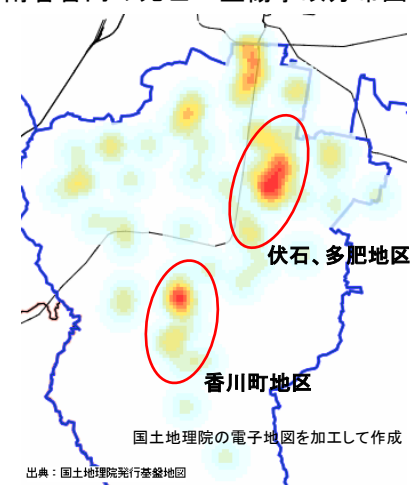
ウ 死亡事故(6件(6人))の特徴

- 地区別
香川町4人、西山崎町1人、檀紙町1人
- 当事者別
自転車3人、歩行者1人、原付1人、四輪1人
- 年齢別
40代1人、60代1人、65歳以上4人

エ 死亡・重傷事故の発生傾向と対策(右図参照)

- 人口が増加傾向にある伏石、多肥地区等の新興住宅街では、出会い頭等による重傷事故が多発。
⇒交差点関連違反、自転車取締り等を強化します。
- 香川町及びその周辺の国道193号では、実勢速度の高さに起因する死亡・重傷事故が多発。
⇒国道193号における速度取締りを強化します。

南署管内の死亡・重傷事故分布図



取締り要望

- 実勢速度が高い国道、主要地方道・県道等の幹線道路のほか、通学路周辺や抜け道等の生活道路について、速度取締り要望が多く寄せられています。
- また、市街地の幹線道路において、二輪等の騒音や暴走に関する取締り要望も多く寄せられています。

その他の交通指導取締り要点

- 交差点関連違反(信号無視、一時不停止、横断歩行者妨害)及び脇見運転の要因となる携帯電話使用等違反取締りや通勤時間帯の自転車取締りを強化します。
- 飲酒運転が増加傾向にあるため、夜間の飲酒検問等の飲酒取締りも強化します。